

【草花の部屋】

ワケギ (ヒガンバナ科ネギ属 Allium×wakegi)

和名：ワケギ(分葱) **別名**：フユネギ(冬葱)、モヨギ(萌葱)

英名：Tree onion、topsetting onion、walking onions、'Egyptian onion

キジカクシ目 多年草

原産地：ギリシャ

花言葉： **花色**：白



← 写真-1 ワケギ

撮影日：2021年4月10日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



→ 写真-2 ワケギ

撮影日：2021年3月20日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

大和郡山市郊外の家庭菜園でみかけました。

「ワケギ」は、当初、ネギの突然変異種と考えられていたそうですが、近年になって染色体を調べたところ、ネギ(*Allium fistulosum*)とエシャロット(タマネギの変種)が自然交雑して生まれたということがわかったそうです。タマネギ(*A. cepa*)に似た

球根性多年草で、野菜として食用とされます。しかし、タマネギが花を付ける位置に珠芽(ムカゴ)を付けます。葉や茎はネギよりしなやかで、地下部は赤褐色に肥大して鱗茎をなしています。

初夏に休眠期に入り晩夏から生育期に入ります。生育適温は 15～20℃なので、東北などの寒い地域では 8 月～9 月、九州や沖縄などの暖かい地域では 9 月～10 月に植え付けを行うとよいそうです。また、連作障害を起こす植物です。

葉を切り取って収穫し球根を植えたままにしておくと何度でも収穫できます。ただし、何度も切り取ると葉が細くなっていき美味しくなくなるので、収穫は夏に植え付けた場合なら 10 月～11 月と 3 月～5 月の年に 2 回までにしておくのがお薦めだそうです。

分球で増やせます。分球とは親球から新しく出た子球を切り離して使う増やし方のことで、ワケギは育っていくと自然に分球するので、球根の外皮をむいてから分球して植え付けます。

収穫後に球根を掘り上げておくと次の年の植え付けにも使えます。この場合は、収穫後もしばらくは球根を土の中に置いておき、6 月ごろ葉が枯れたら掘り上げるとよいそうです。掘り上げた球根は風通しのよい日陰でしっかり乾燥させ、冷暗所で保存しておきます。球根が湿ったままだとカビが発生してしまうので要注意だそうです。

<ちょっと一言>

＊分蘖(ぶんけつ)；

- ・植物の根元付近や切り株から伸びた新芽を蘖(ひこばえ)と言いますが、蘖が伸びて株が増える事を分蘖と言います。

＊珠芽(ムカゴ)；

- ・植物の栄養繁殖器官の一つで、わき芽が養分を貯え肥大化した部分のことで、主として地上部に生じるものをいい、葉腋や花序に形成され、離脱後に新たな植物体となります。
- ・葉が肉質となることで形成される鱗芽と、茎が肥大化して形成される肉芽とに分けられ、前者はオニユリなど、後者はヤマノイモ科などに見られます。